

# 組み立て方



## ② ヒト編

二心房二心室  
ガス交換  
観察モデル

# 溶液の準備

静脈血として使用する溶液を作ります  
一度に使用する量は100mL程度です  
(ペットボトルで作ると便利です)



## 作り方

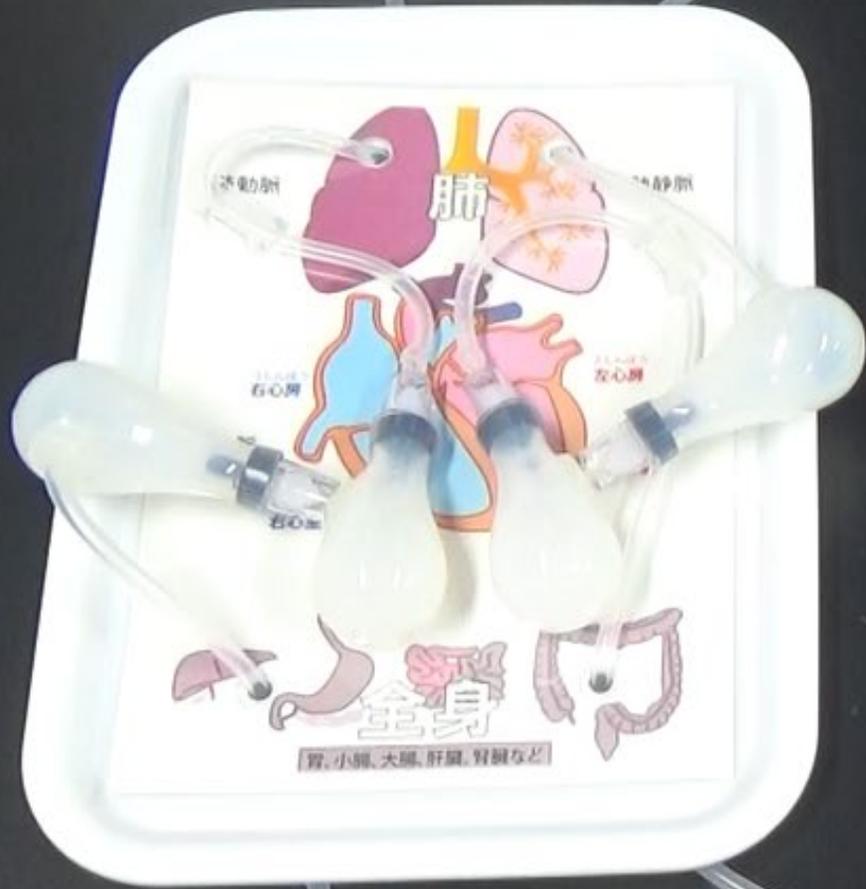
1. 水500mLに1%フェノールフタレイン液を5滴入れます
2. 1に、青インク2滴程度を入れます
3. 混ぜてできあがり

※試薬と青インクは別途ご用意ください

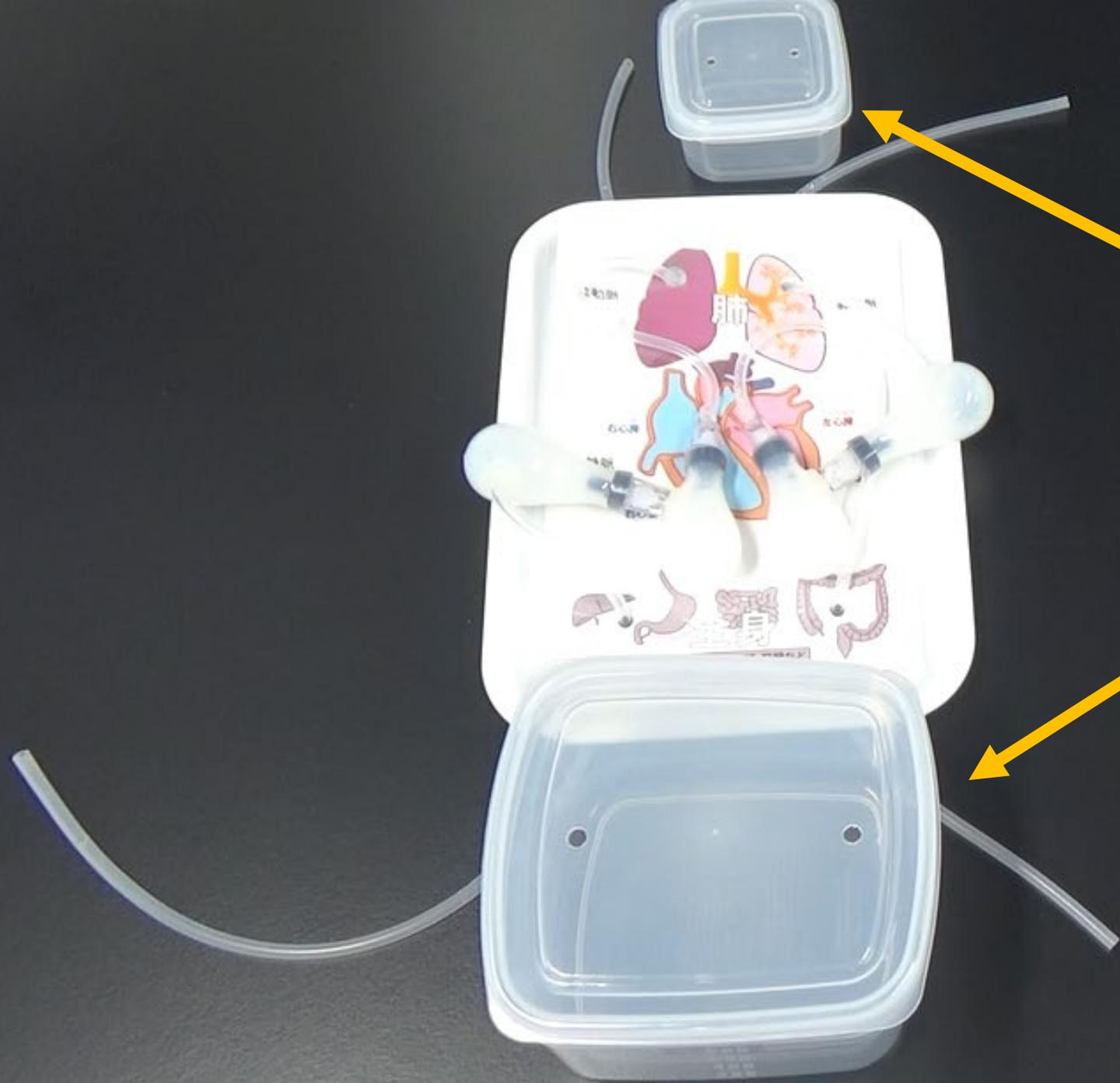


# ガス交換観察モデル セッティング

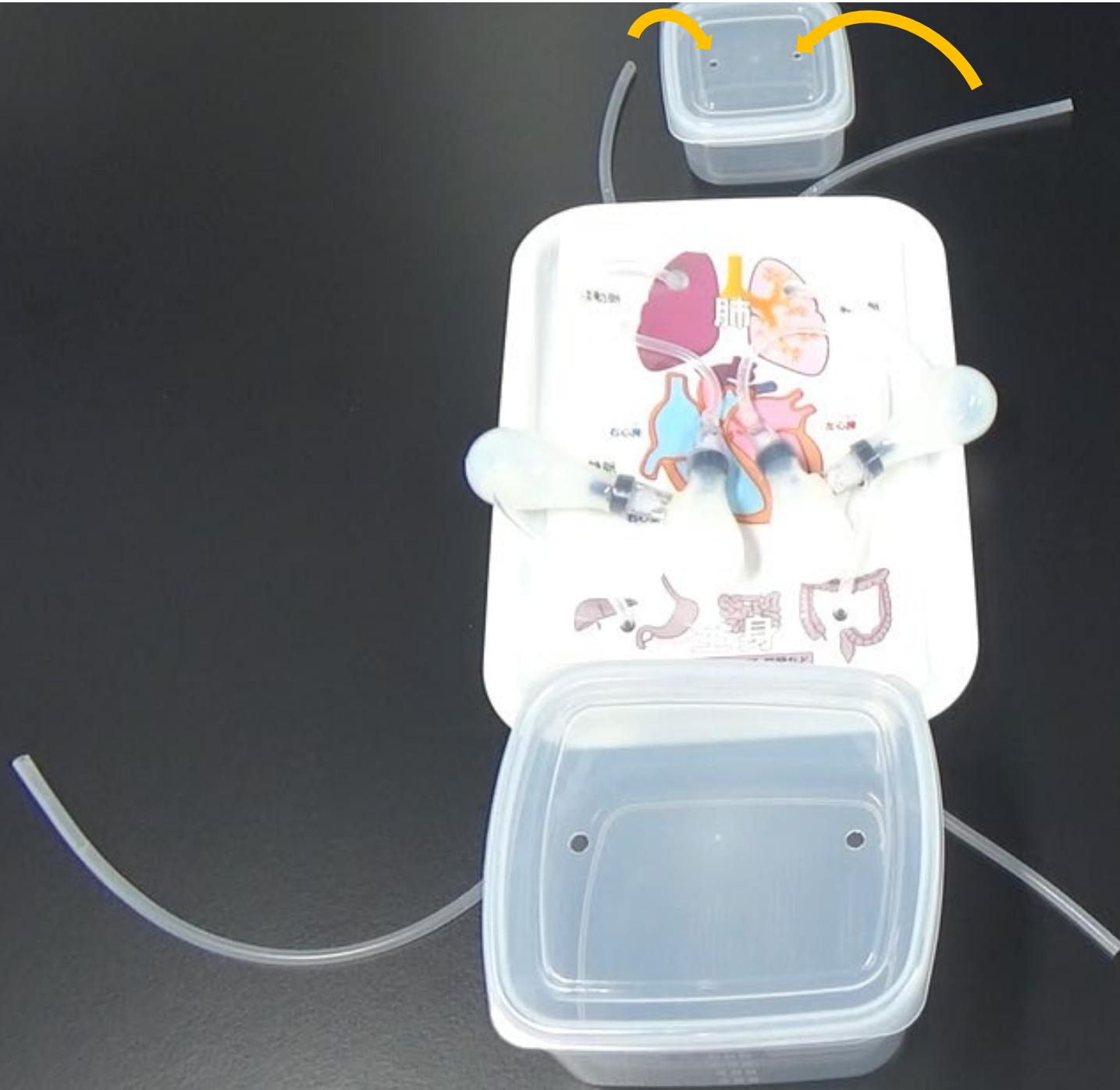




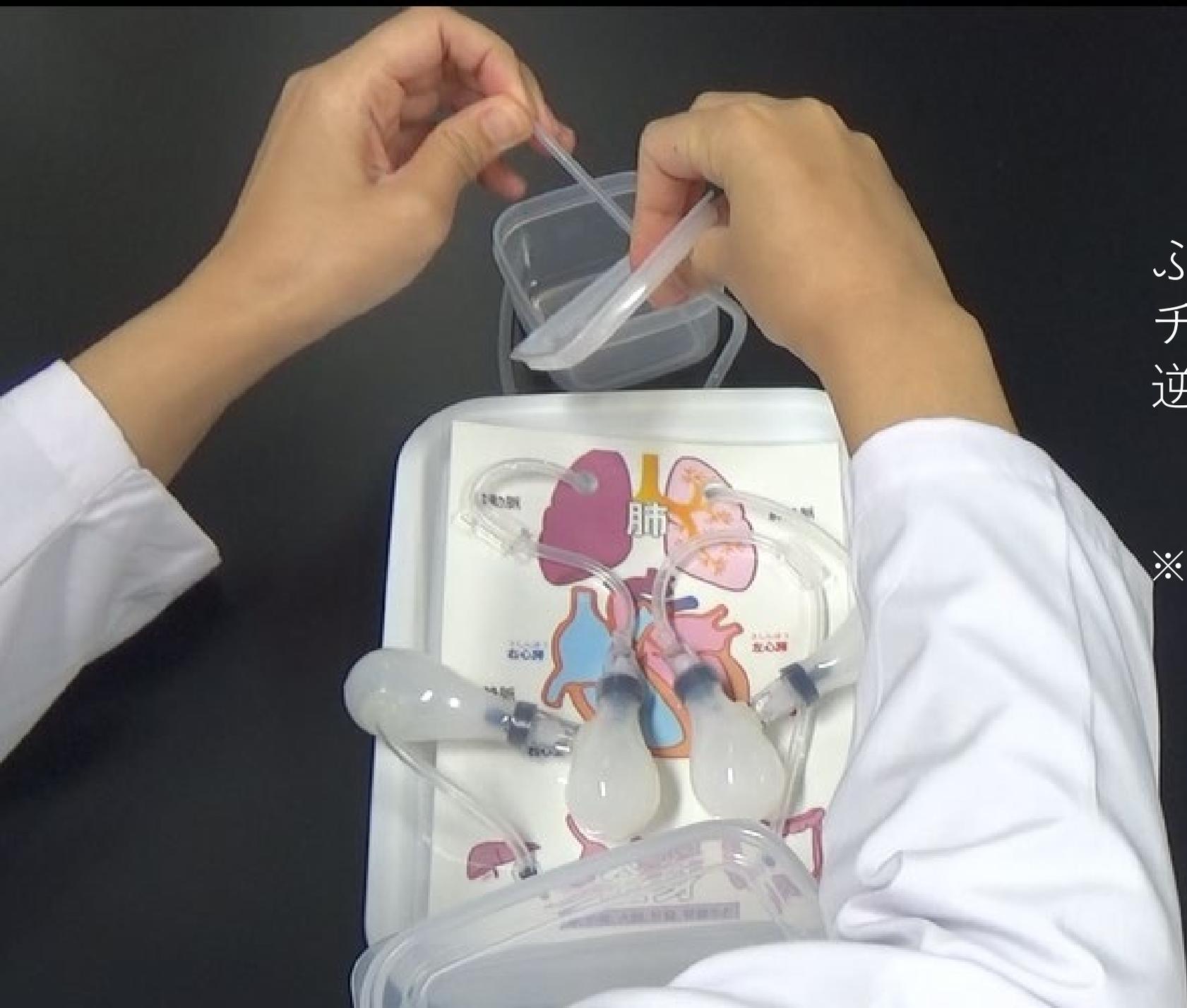
- ①二心房二心室血液循環型心臓モデルと同様に組み立て、ヒトシート上にセットします



ガス交換観察用容器  
(肺用・全身用)を  
準備します

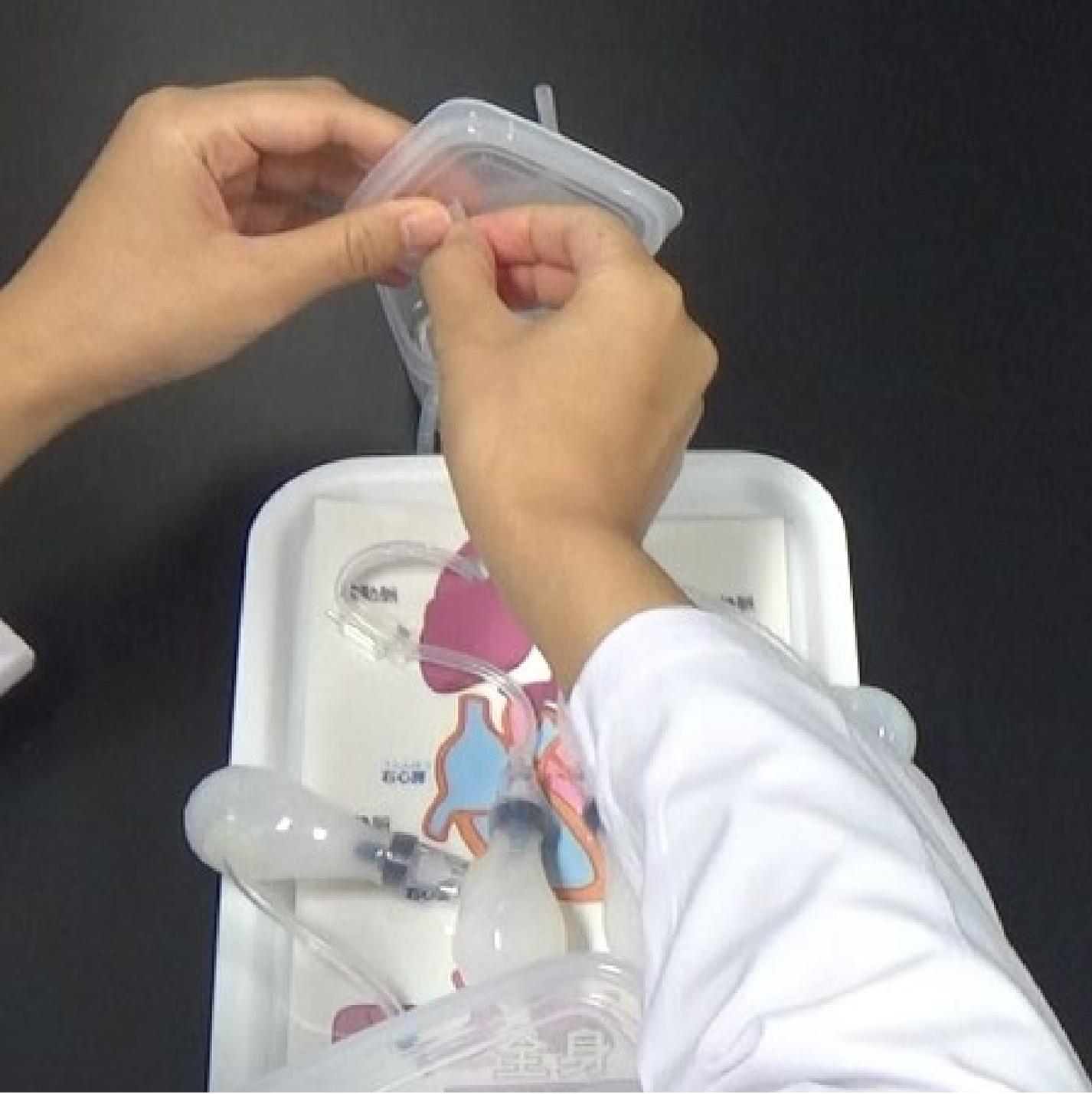


ガス交換観察用容器  
(肺用) のふたに  
シリコンチューブを  
さしこみます

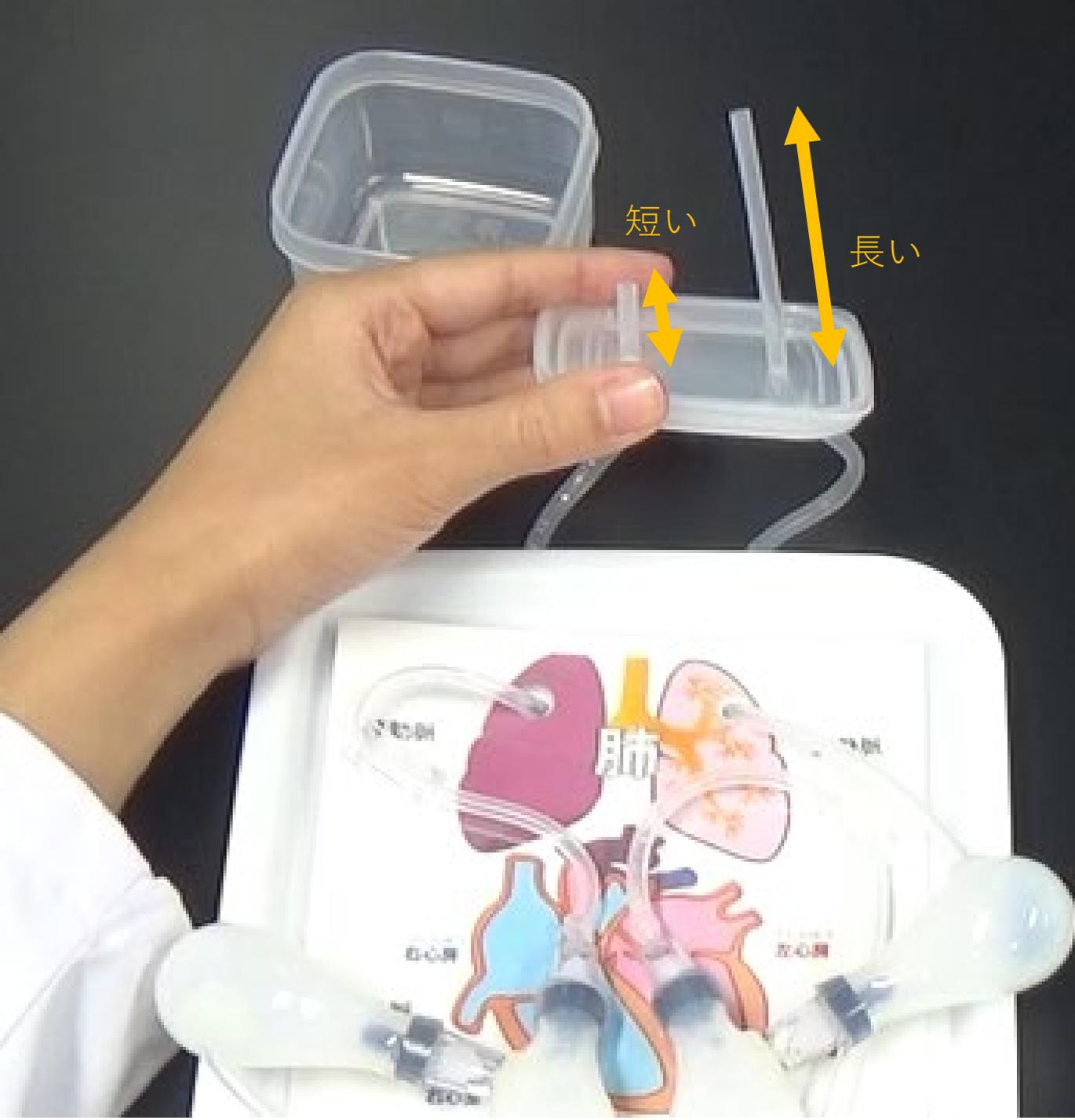


ふたを外して  
チューブを通し、  
逆からひっぱります

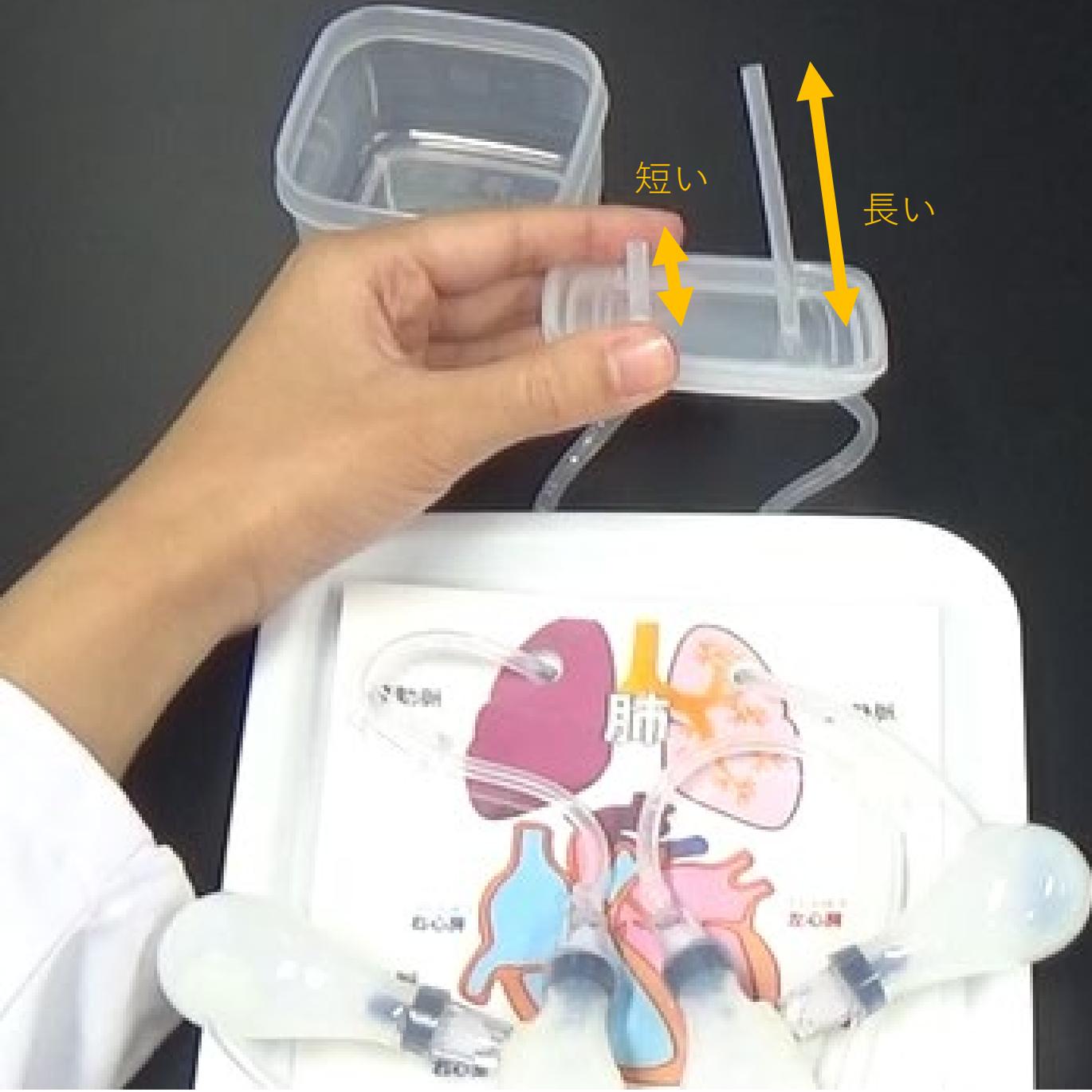
※ふたの穴に通りにくい場合、  
チューブを斜めに切ると  
通りやすくなります



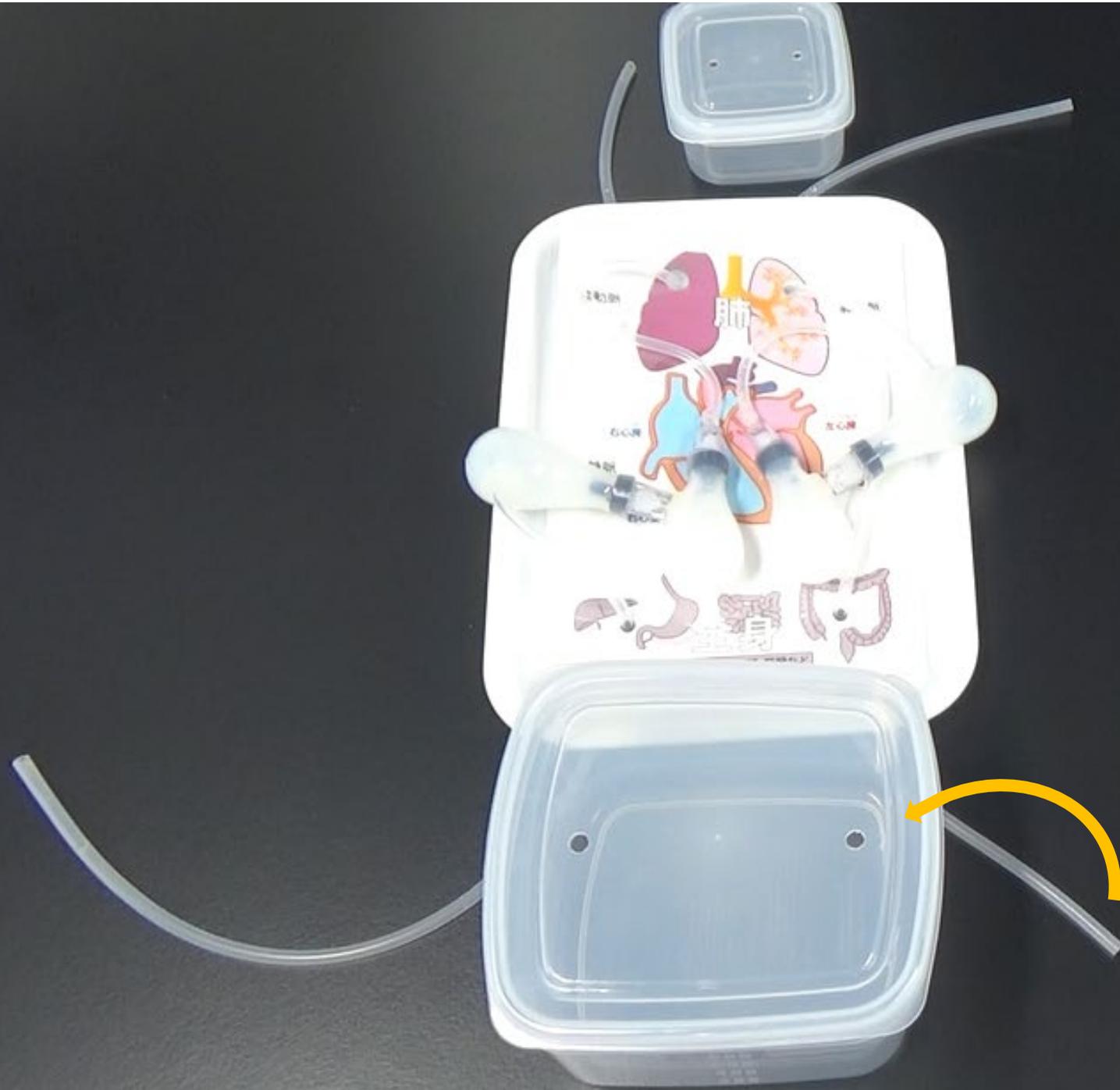
肺動脈側も同様に通します



肺動脈側は短く、  
肺静脈側は長くセットします



長い肺静脈側は  
液を吸い込む側なので、  
容器の底面につく長さにします。



ガス交換観察用容器  
（全身用）のふたに  
右側のシリコンチューブを  
さしこみます  
※大動脈のみ



左側のチューブ（大静脈）は  
100mLビーカーに入れます



チューブは容器の底に  
つくぐらい  
奥まで  
ひっばっておきます



白箱本体に  
セットしていきます





ガス交換観察用容器  
(全身用) の  
ふたを閉じます

この容器は  
廃液入れの役割です



ガス交換観察用容器  
(全身用) を  
白箱に入れます



ガス交換観察用容器  
(肺用) に  
約3gの炭酸ナトリウム  
を入れます



100mLビーカーに、  
調整した静脈血を入れます



ガス交換観察用容器  
（肺用）のふたを閉め、  
白箱に入れます





ビーカーも白箱に  
いれます



白箱の中には  
このように  
納めます



ふたをのせて完成です

ふたの下のチューブ類が  
外れていないか  
確認してください